

登録コード	SE506300	開講年度	2026						
授業題目	陸水生態学特論						担当教員	宮原 裕一	
英文授業名	Topics in Aquatic Ecology						副担当		
単位数	2	講義期間	後期(集中)	曜日・時限	集中・不定期		対象学年	3年	
講義室				授業形態	講義	遠隔授業科目		備考	
信大コンピテンシー	該当								
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					【授業の達成目標】			
	2 6 Sカリ, 2 5 Sカリ, 2 4 Sカリ, 2 3 Sカリ								
	【2023年度以降加付対象】理学の各分野における専門知識					自らテーマを設定し、観察や分析を行い、その成果を他者に分かりやすく説明することができる。			
	【2023年度以降加付対象】専門知識や観察・実験などによって問題を理解・解決し、その成果を的確に他者に伝える力					自らテーマを設定し、観察や分析を行い、その成果を他者に分かりやすく説明することができる。			
	【2023年度以降加付対象】理学の基礎知識と専門知識を活用して課題を発見し取り組み、その成果を社会に役立てる力					自らテーマを設定し、観察や分析を行い、その成果を他者に分かりやすく説明することができる。			
(2)授業で学べる「テーマ」	環境共生								
(3)全学横断特別教育プログラム									
(4)授業の概要	野外あるいは室内の実験を適宜行い、その成果をもとにレポート（研究計画）を提出する。また、陸水生態学特論 と連動し、研究室のセミナーにおいて、その研究成果を紹介し、質疑応答を受ける。								
(5)授業のキーワード	専門分野への関心、研究計画の立案								
(6)授業計画	日程については、教員から指示します。なお、最終回には授業のふりかえりを入力する。								
(7)成績評価の方法	卒業研究の予備的な研究において、１）その課題について理解が得られたか、２）研究を遂行するのに必要な技術を身に付けられたか、３）卒業研究としてふさわしい内容の研究計画が立案できたかをともに評価する。								
(8)成績評価の基準	上記評価の方法において、１）から３）それぞれをどの程度満足しているかで判断する。								
(9)事前事後学習の内容	関連分野について、専門書や学術論文を読み、理解を深めることをお勧めします。								
(10)履修上の注意	諏訪臨湖実験所（諏訪市湖岸通り5 - 2 - 4）で行います。								
(11)質問,相談への対応	miyabar@shinshu-u.ac.jpへご連絡ください。								
【教科書】									
【参考書】	河川生態学入門、平林公男・東城幸治編 共立出版								